

が残っていることを表す。(間に係助詞のはいる場合もある。)

16. (動詞、形容詞の連用形に、助詞「て」を添えた形について) そのままの状態です。それです。その意を表す。
17. (動作性の漢語名詞、または動詞の連用形について) その動作をする人に対する尊敬の意を表す。

11・16の目がでる。成り目ができる。

17. 貴人がある行為、動作をする。なさる。特にあるところへおでましになる。
18. 補助動詞として用いる。(動詞の連用形や動作性の漢語名詞を「お～なる」、「ご～なる」の形ではさみ、動作主に対する尊敬を表す。)

## な る

1. 動植物が新たに生じる。
2. 草木の実ができる。みのも、結実する。
3. あるものから他のものに変化する。
4. ある状態から他の状態に移り変わる。ある状態に達する。
5. その時刻や時期に達する。その時に至る。また、時が経過する。
6. ある場所やある高さに達する。
7. 官職に任せられる。任命される。
8. みじめな状態になる。おちぶれる。
9. 将棋で王、金以外の駒が敵陣の三段目以内にはいたり、そこで動いたりしてその性能がわかる。
10. 物事ができあがる。やっていたことがしあがる。
11. 望んでいたことが実現する。思いがかなう。
12. することができる。
13. 特に酒が飲める。いける。
14. さしつかえないとしてがまんできる。
15. 暮らしがたつ。
16. 三粒(みつば)ばくちで、6・

## い う

1. (～と)口に出す。口をきく。
2. (目的語をとって)思うこと。見聞したことなどを言葉に表す。
3. (ある人、物、事柄などを～と)呼ぶ。名づける。称する。
4. 世間の人々が口にする。伝聞する。
5. 詩や歌を詠む。また声を出してうたう。
6. (手紙、歌などで)愛情を告げる。求婚する。言い寄る。
7. 鳥や獣などが鳴く。
8. (擬声語について)そういう音を立てる。
9. (まれに擬態語について)そういう刺激性の状態が現れる。
10. (様態を表す語を熟して)そのさまであることを示す。(こういう。ああいう。そういう。どういう。)
11. (助詞「と」について)「と」の受ける事柄を取りたてて、それに関して下に述べる場合に用いる。具体的な意味のうすれた補助的用法。